

令和3年教育福祉委員会会議録

1. 招集年月日 令和3年11月15日
2. 招集の場所 可児市役所5階全員協議会室
3. 開 会 令和3年11月15日 午後1時00分 委員長宣告

4. 協議事項

1 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染対策について

2 協議事項

- (1) 教育委員との懇談会のまとめについて

5. 出席委員 (6名)

委員長	川合敏己	副委員長	中野喜一
委員	林則夫	委員	山根一男
委員	板津博之	委員	勝野正規

6. 欠席委員 (1名)

委員 伊藤健二

7. 説明のため出席した者の職氏名

こども健康部長	伊左次敏宏	健康増進課長	後藤文岳
新型コロナワクチン 接種推進室長	渡辺博生		

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	宮崎卓也	議会総務課長	下園芳明
議会事務局 書記	林桂太郎	議会事務局 書記	今枝明日香

○委員長（川合敏己君） それでは、定刻になりましたので、ただいまから教育福祉委員会を開会いたします。

なお、本日は、伊藤健二委員が遅れておりますので、このまま議事に入らせていただきます。

発言をされる方は、委員の方も執行部の方も挙手をして、委員長の許可を得てからマイクのボタンを押して発言をお願いいたします。

初めに、1. 報告事項。

(1) 新型コロナウイルス感染対策についてを議題とします。

執行部の説明を求めます。

○子ども健康部長（伊左次敏宏君） 今日、会期前委員会ということで報告をさせていただきたいと思います。

内容としましては、新型コロナウイルス感染症の状況です。これを1つ。ただ、今非常に落ち着いておりますので10月までの状況になろうかと思っておりますけれども、それからワクチン接種のほうにつきましても、おおむね2回目までは完了というような状況にありますけれども、今までの推進状況を説明させていただきまして、併せて3回目の接種、報道等でされておりますので御承知だと思っておりますけれども、その3回目の接種に向けてということで、少し報告をさせていただきたいと思います。

また、3回目接種に係る予算案の関係につきましては、今度の12月議会初日に出させていただくということで予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、担当課長のほうから説明させていただきます。お願いします。

○健康増進課長（後藤文岳君） それでは、新型コロナウイルス感染症の感染状況について説明させていただきます。

資料番号1のまず1ページを御覧ください。

これは、可児市の月別新規感染者数と累計ということでグラフにしたものでございます。

令和2年3月に、初めて可児市で感染者が確認され、令和2年8月、この辺りが第2波と呼ばれているところと、令和2年12月、令和3年1月あたり、これが第3波、令和3年4月、5月、6月あたりが第4波、令和3年8月、9月あたりが第5波となります。折れ線グラフに数字は出ていませんけれども、10月末現在の累計感染者数は1,489人となっておりますが、令和3年8月、9月で547人の感染者が発生しており、約3分の1がこの2か月で発生したことになっております。

次に、2ページを御覧ください。

これは、第5波である令和3年8月から10月の年代別新規感染者数となります。ブルーが8月、オレンジが9月、グレーが10月となり、折れ線グラフについては、年代別の感染者の3か月の合計のうち、外国籍の方の割合を示しています。

折れ線グラフの外国籍の割合は、10歳未満、30代、1歳未満で割合が高くなっています。

20代についても割合としては39%となっておりますけれども、感染者数としては多数います。資料に数字は載せていませんけれども、外国籍で感染者数が多い年代は30代、20代、10代の順となっております。

次に、棒グラフを御覧いただくと、感染者数の多い年代は20代、30代、10代となっております。逆に感染者が少ない年代は80代、70代、60代となっております。これは、岐阜県全体においても同じ傾向となっております。

可児市では、65歳以上の方が5月15日から60歳から64歳の方が6月23日からコロナワクチンの接種が始まっております。80代、70代、60代の方々の感染者の割合が第5波において低くなっていることや10月以降の感染者が大きく減少しているのは、ワクチン接種によるものが大きいと考えています。

可児市においては、10月28日から新型コロナウイルス感染症の患者が発生していません。しかし、県内における人口10万人当たりの新規感染者数は全国的に見ても高い水準にあり、毎日感染者が発生していますので、今後も引き続き警戒していく必要があると考えております。

簡単ですが、感染状況についての説明は以上です。

○新型コロナワクチン接種推進室長（渡辺博生君） 続きまして、ワクチン関係の報告をさせていただきます。

申し訳ございません。ちょっと次第のほうを見ていただきたいと思います。

11月8日時点での1回目と2回目のワクチンの実績でございます。接種の対象となった12歳以上の市民の皆様に対し、1回目が7万7,716人で84.5%、2回目が7万5,255人で81.8%でございます。そのうち、2回接種を終えた65歳以上の方につきましては2万7,524人、93%となっている状況でございます。

その下の表でございます。

また、市としまして外国籍市民の感染が増加したと、そういった時期がございました。通訳を配置した専用会場を設置しまして、これまで外国籍の市民の方への接種を進めてきたところでございます。その結果、現在のところでは5,000人以上の方が2回の接種を終え、1回目が77.65%、2回目が74.50%となっているところでございます。

続きまして、資料の3ページのほうのグラフを見ていただきたいと思います。

こちらのグラフは、10歳刻みの各年代の接種率を示したグラフでございます。見ていただくとお分かりのとおり、年齢が高くなればなるほど接種率が高くなるという傾向にあるのは分かるかと思えます。逆に、12歳から19歳に関しては、全体でいうと69.6%という状況で7割程度にとどまっているところでございます。

続きまして、資料の4ページを見ていただきたいと思います。

こちらのグラフに関しましては、1回目の接種について2週間ごとでどのように推移していったのかをお示ししたグラフとなっております。差が2週間に接種した回数となっておりますので、御確認をいただければと思っております。

また、参考情報となりますけれども、横軸の時期に接種を開始した年齢区分を棒グラフの上にメモとなりますけれども、記載をさせていただきました。この頃にこの年代の接種が始まったよということが分かるというかなと思ひまして、メモをさせていただいたところがございます。

年度当初、国から7月末までに65歳以上の高齢者に対して2回の接種を完了するように通知をいただいているところございました。その対応としまして5月15日から接種を始めたところですが、5月31日からは医療機関を倍に増やして市として対応をしたところがございます。

資料の7月11日の欄を御確認いただきますと3万5,606回とございます。可児市は高齢者約3万人の対象者に対して、2回の接種を7月末までに終わることができたと、現在のところは考えております。また、7月以降も2週間単位で約8,000回のペースで接種を進めてきたところがございます。9月5日と9月19日の差を見ていただくと、ここが2,180回となっております。少なくはなっております。こちらが、国からのワクチンの供給が減少したことに伴いまして、1回目の接種を9月7日から9月17日までの11日間取りやめたというか、後ろへずらしたことに伴って、ここの週は減っているというものでございます。

また、10月以降につきましては、年代ごとの人口と、それから接種率の減少に伴い、2週間の接種回数も減少しているというふうに考えております。繰り返しになりますが、11月8日時点での1回目の接種を終えられた方が7万7,716人ということになってございます。

また、現在の接種状況を少し御報告申し上げたいと思っております。

これまでに自己都合で接種ができなかった方、それから新規の12歳の誕生日を迎えられた方などに対して、現在では市内の3医療機関で1週間に100回程度の接種を行っているところがございます。新規12歳の方がお見えになるということになりますので、この後も僅かではあるかと思ひますけれども、少しずつ増えていくということを予想しております。

続きまして、また次第のほうへお戻りをいただきたいと思っております。

新型コロナワクチンの3回目となります追加接種につきまして、その概要を説明させていただきます。

事業期間といたしましては、12月1日から来年の7月31日まで。接種の対象となる方は2回接種を終えた方。接種の間隔は2回目の接種からおおむね8か月以上を経過した方。これに伴いまして、市内の対象者は8万人ということで想定をしているところがございます。

接種の時期につきましては、まず12月から市外の医療機関に勤務する医療従事者の方への接種を始める予定でございます。1月中旬からは、市内の医療機関に勤務する医療従事者の方などへの接種を進めていく予定でございます。その後になりますが、2月上旬から一般高齢者の方への接種を開始していく予定となっているところがございます。

最後となりますけれども、今週の水曜日の17日に、国の自治体説明会が開催される予定でございます。こういった説明会を踏まえまして、詳細な内容等、今後詰めていくところもたくさんございますので、市として対応すべきことをしっかりやっていきたいなというふうに

思っております。

私のほうからは、以上です。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

それでは、委員のほうから質疑があればお願いします。

○委員（板津博之君） 私も、一般質問等でもいろいろ言いたくないことも言わせていただいたところなんですけれども、担当課におかれましては本当に、可児市は随分接種率が、接種のスピードも速かったと思いますし、ここまで本当によくやっていただけて感謝を申し上げたいと思います。

1点、一般質問でも出ていたと思うんですけど、担当課のワクチン接種推進室なり、健康増進課のほうの担当職員の方々のいわゆる超過業務というか、残業の部分については、このところはどういう状況かというのはお分かりになりますでしょうか。

○新型コロナワクチン接種推進室長（渡辺博生君） 以前、職員の時間外勤務につきましては、一般質問をいただいてお答えをさせていただきましたが、現状はかなり落ち着いておりますがゼロではないんですけれども、1人職員平均にしますと月に数時間程度というふうに収まって、現在は時間外が少なくなっているということでございます。ただ、この後はいろいろ先ほどの3回目の話とかいろいろございますので、もう少しひよっとしたら、今の現状のままではいけないのかなというふうには思っているところでございます。以上です。

○委員長（川合敏己君） ほかにございますか。

○委員（林 則夫君） ちょっと1つお尋ねしたいのは、新型コロナウイルス感染症にかかられて、そして亡くなった方は別にして、退院して、その後の回復状況というのか、後遺症というのか、そういったものの追跡調査をされておるようだったら、ちょっと年代別に教えてほしいです。

○健康増進課長（後藤文岳君） その件については、ちょっと前に県のほうに確認をさせていただきました。そして、その追跡調査というのはやっていないという回答をいただきましたので、ちょっと数字等は分かっているものはないということでございます。以上です。

○委員長（川合敏己君） ほかにございますか。

○委員（板津博之君） すみません。3回目のことで、恐らくまだ分かっていないことのほうが多いと思うんですが、11月17日に自治体に対する国からの説明会があるということで、基本的に現状、可児市としては3回目の接種に当たって具体的な手続としては1回目、2回目と同様な予約システムというか、そういった形で3回目もやっっていられるということになるんでしょうか。

○新型コロナワクチン接種推進室長（渡辺博生君） 予約に関しましては大変恐縮でございますが、まだちょっと詳細を詰め切れません。おおむね8か月ということも考慮させていただきながら、今後1回目、2回目のように市民の方が混乱しないような方法で予約なり、接種の推進体制を図っていきたいと思っているところでございます。

○委員長（川合敏己君） ほかにございますか。

よろしいですか。

[挙手する者なし]

それでは、発言もないようでございますので、この件に関しては終了といたします。

ここで議事の都合により、暫時休憩します。

以降の議事は委員のみで協議しますので、執行部の方は御退席していただいて結構です。
ありがとうございました。

休憩 午後1時17分

再開 午後1時19分

○委員長（川合敏己君） それでは、会議を再開します。

次に、2. 協議事項。

(1)教育委員との懇談会のまとめについてを議題といたします。

その概要については、既に資料として送付しておりますので、既に目を通していただいていることと思いますが、よろしいですか。もう一回読み上げるとか、そういうことは必要ですか。よろしいですね。

[「はい」の声あり]

10月18日に開催したこの教育委員との懇談においては、教育委員からの意見の中から特に取り上げて代表質問につなげるべき意見があれば発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

特に、よろしいですか。

[「なし」の声あり]

それでは、特になしということで、この件に関しては終了いたします。

これにて教育福祉委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

閉会 午後1時20分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和3年11月15日

可児市教育福祉委員会委員長